尿酸排泄促進薬（成人）地域フォーミュラリVer.2.0

推奨	第一推奨	第二推奨
成分名	ドチヌラド （先発:ユリス［参考］）	ベンズブロマロン （先発:ユリノーム［参考］）
薬価	錠０．５ｍｇ：２２．９円 錠１ｍｇ：４１．７円 錠２ｍｇ：７４．２円	２５ｍｇ：６．３円 ５０ｍｇ：６．３円
用法用量	1日0．5mgより開始し1日1回経口投与 その後は血中尿酸値を確認しながら必要に応じて徐々に増量する 維持量 通常1日1回2mg 最大投与量:1日1回4mgとする	＜痛風＞ 1日1回25～50mgを経口投与 その後維持量として1回50mg　1日1～3回経口投与 ＜高尿酸血症を伴う高血圧症＞ 1回50mg　1日1～3回経口投与
警告	なし	・劇症肝炎等の重篤な肝障害が主に投与開始6ヶ月以内に発現し、死亡等の重篤な転帰に至る例も報告されているので、投与開始後少なくとも6ヶ月間は必ず、定期的に肝機能検査を行うこと。また、患者の状態を十分観察し、肝機能検査値異常、黄疸が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと ・副作用として肝障害が発生する場合があることをあらかじめ患者に説明するとともに、食欲不振、悪心・嘔吐、全身倦怠感、腹痛、下痢、発熱、尿濃染、眼球結膜黄染等があらわれた場合には、本剤の服用を中止し、直ちに受診するよう患者に注意を行うこと
禁忌	本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者	・肝障害のある患者 ・腎臓結石のある患者 ・高度腎障害のある患者 ・妊婦又は妊娠している可能性のある女性 ・本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
妊婦・授乳婦[1)]	情報なし	情報なし
特徴、 推奨理由など	選択的URAT1阻害薬。腎機能低下時にも比較的使用しやすく、薬物相互作用が少ない。	CYP2C9で代謝される。尿酸低下作用は強力であるが、重篤な肝障害のリスクがあり、肝機能の定期的なモニタリングが必要。

1）妊娠と授乳　改訂４版より